

令和 03 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	001 地場産品販路拡大支援事業			
担当部	040000 経済部	課・室	040501 商工水産課	所属長名	上良 卓	

(1) 基本情報

基本目標	015 豊かな資源をいかし、活気にあふれた系	施 策	042 産業の魅力に磨きをかける ブランド化
事務事業期間	令和 03年度 ~ 令和 07年度	会計種別	01 一般会計
経費の性質	5 政策的経費	実施計画対象	1 対象
事業概要	実施方法	業務委託又は指定管理	実施根拠 (法令や条例等)
	目 的	なし	
	対 象	「糸満フェア」で物産展を開催し、併せて大都市圏及び県内において「物産展」又は「商談会」を開催し、本市地場産品（観光商品を含む）の販路拡大や観光誘致を図る為、観光協会に業務を委託し、本市商工業の振興支援を行う。	
	活 動 内 容	糸満市内事業者の地場産品	
	意図（成果）	・県内イベントでの地場産品の販売・観光商品のPR。 県外（仙台）にて商品や観光のPRを実施 ・大都市圏での「物産展」及び、「商談会」の実施。 コロナ禍にて未実施 ・糸満の産業まつり「糸満フェア」の実施。 コロナ禍にて未実施	
		地場産品の販路拡大を図り、本市商工業の振興支援を行う。 コロナ禍の中、事業のほとんどが実施できなかったことから成果が得られなかった。	

(2) コスト及び成果

	単位	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度予算	R06年度予算
事業費	千円	3,904	976	5,119	5,119	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	3,904	976	0	0
	一般財源	千円	0	0	5,119	5,119

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・ 活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・ 成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
物産交流会参加事業者数	社	物産交流会参加事業企業者数	物産展の開催	回	物産展の開催数
商談会参加事業者数	社	商談会参加事業者数	商談会への参加	回	商談会への参加

活動指標	指標名	単位	区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
物産交流会参加事業者数	計画値	社	計画値	10	10	10	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
	計画値	社	計画値	10	10	10	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
	計画値		計画値	0	0	0	0	0
	実績値		実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
物産展の開催	計画値	回	計画値	1	1	1	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
商談会への参加	計画値	回	計画値	10	10	10	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
	計画値		計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

事務事業評価書（裏）  
（３）業務の評価

事務事業名称	001 地場産品販路拡大支援事業
--------	------------------

妥当性	事務事業を実施する妥当性	目的は明確で上位の施策に結びついている 目的は上位の施策に結びついていない 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 地場産品の販路開拓のため姉妹・友好都市及び、「系満フェア」で、県内外における地場産品の周知及び本市への誘客を図り、本市商工業の振興支援を行う。
	行政が関与する妥当性	法令及び条例によりサービスが義務付けられている 国、県、市の協調によるもの 民間ではできない、または民間では実施していない 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの 民間に同様・類似のサービスが存在する
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 地場産品の販路開拓のため姉妹・友好都市及び、「系満フェア」で、県内外における地場産品の周知及び本市への誘客を図る。営利に繋がりにくいことから民間が事業を図ることは難しいと考える。

必要性	市民ニーズ	市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある 市民ニーズが増加傾向にある 市民ニーズが現状維持の傾向にある 市民ニーズが減少傾向にある 市民ニーズを把握していない
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 コロナ禍において、市の産業にも影響が生じていることから、地場産品の販路拡大を図り、市の産業活性化に繋げ雇用にも資することから市民ニーズは増加していると考ええる。
	現時点での優先性や緊急性	緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい 現時点では必ずしも実施しなくてもよい
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 コロナ禍において、市の産業にも影響が生じていることから、地場産品の販路拡大を図り、市の産業活性化に繋げ雇用にも資することから優先度や緊急性は高いと考える。

公平性	受益者負担は適切か	広く市民を対象としていることから適切である 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） 公平性の評価になじまない（内部管理業務など）
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 市の産業が対象となることから、公共性は高く、事業参加者には一部受益者負担が生じることから事業は適切だと考える。

効率性	事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	かなり縮減できている ある程度縮減できている あまり縮減できない
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 早めに商品を送るなど輸送コスト削減を図っているが、大きく縮減することは難しい。

有効性	成果指標の目標値（予測値）に対する達成度	目標を上回る 目標を概ね達成している 目標をやや下回る
		説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 コロナ禍における事業のため、事業遂行が難しく目標値へのアプローチが困難であった。

（４）評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 適切 見直す余地あり 2. 必要性 適切 見直す余地あり 3. 公平性 適切 見直す余地あり 4. 効率性 適切 見直す余地あり 5. 有効性 適切 見直す余地あり			総合評価 ・全て適切でA評価 A 現状どおり事業を進めることが妥当 ・適切3～4でB評価 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり ・適切1～2でC評価 C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 ・全て見直しでD評価 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 拡大・充実 現状維持 改善 民間委託 統合 縮小 休止 廃止 完了			改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）